

特別企画展

戦後60年 のメッセージ

伝えたいあの時を...

上 昭和初期の徳島市内 下 昭和20年7月5日 空襲翌日の徳島市内

平成17年8月2日[火]→10月30日[日]

午前9時30分～午後5時

徳島県立文書館 2F 展示室



文化の森総合公園 徳島県立文書館

<http://www.archiv.comet.go.jp>



戦後六〇年のメッセージー伝えたいあの時ー

日本が戦争を当事者として戦っていた時から六〇年の歳月が経過しました。戦後、多くの人々の価値観は一変し、特に徳島市内では空襲の焼け跡となり、失われた空間からの再出発となりました。現在では日本が、戦争の渦中にあつたことを実感できない人々が次第に社会の中枢を占めるようになって来ました。六〇年という歳月は、産まれた子供が次世代を生むこと（＝約三〇年）をひとつの人生サイクルと考えれば、二回が経過したことになります。

この六〇年の間、徳島においても数え切れないほどさまざまな出来事がありました。それは、われわれ徳島の人間一人一人が実体験したことであり、われわれ一人一人が違った

歴史を語る事ができるはずですよ。

今回の展示では、徳島の生活者に目線を置いて、戦後徳島のひとびとの生活を、ほんの一部になってしまいますが、追いかけてみようと考えました。人の半生、また徳島の戦後六〇年、山あり谷ありです。楽しかった記憶、辛かった記憶、そのひとつひとつを資料により思い返していただき、世代を越えて話し合っていたく機会になればと思います。

こうした身近な歴史からの小さな、さまざまなメッセージを受け取り、世代を越えてわがち合い、地域の経験として蓄積し、必要なときに取り出せるようにしておく地道な作業を続けていくことも必要なのではないのでしょうか。



●徳島市東部昭和初期(久米家所蔵写真)



●徳島市西部昭和初期(久米家所蔵写真)



●昭和20年7月5日 空襲翌日の徳島市内 中央に城山



●昭和20年7月5日 空襲翌日の徳島市内南部 中央に城南高校

あこがれ

戦後六〇年を迎えました。人類史上未曾有の犠牲を払った第二次世界大戦において日本は周辺のアジア諸国を巻き込み、欧米諸国とまで戦火を交え、昭和二〇年八月一五日の敗戦に至りました。戦後の日本は、この反省の上に立ち、二度と戦争は繰り返してはならないという決意のもと、戦争放棄という世界に類例のない憲法をつくり、自由と民主主義を掲げて歩み続けてきました。この結果、日本は世界の奇跡とまで呼ばれた復興と驚異的な高度経済成長を遂げ、高度に発達した科学技術社会を作り、世界屈指の経済大国と呼ばれるまでの繁栄をもたらすに至りました。

この過程の中で日本の社会や日本人は、かつてないほどの変貌を遂げ、日常の生活、暮らし方、ものの見方や考え方、価値観まで大きく変化しました。昨今続発する信じがたい事件や犯罪の数々は、変化の歪みの中から生み出されてきたものと考えられます。六〇年という節目を迎えた現在、この間の私たちの歴史的な営みが何であったのかを、これからの歩みのためにあらためて検討されなければならないでしょう。

創立一五周年を迎えた文書館では開館以来、徳島に関する様々な歴史資料を収集して来ましたが、今回の特別展「戦後六〇年のメッセージー」に伝えたいあの時を「」の開催にあたり、戦後徳島の歩みを端的に物語る所蔵資料を活用して、この課題に迫ってみたいと考えます。

考える視点として、今年還暦を迎えた徳島に生きるひとりの女性を取り上げ、これまでの半生を追うことで戦後六〇年の徳島や日本の歩んだ道を見つめてみることにしました。誕生から子供時代、就職・結

婚・子育て、仕事と家庭の両立、親の介護など、その時々課題と格闘しながら生きてきたひとりの女性の歩みは、戦後日本の社会や歴史そのものを反映しています。この生活者の視点から戦後の社会、教育、交通、娯楽、環境などを見つめ直しました。

さて、昭和二〇年の空襲によって徳島県庁の公文書は、焼失してしまいました。その後の調査活動によって空襲を免れた市町村に、大政翼賛会の活動記録、戦後のGHQ関係の通達文書等、戦中戦後の社会状況を物語る貴重な公文書が残されていることが明らかになってきました。市町村合併や統廃合の進む中、所蔵されている公文書など記録資料の重要性を認識する機会になればと考えます。

また、文書館には戦後GHQが日本の民主化にあたって活用したCIE教育映画（通称ナトコフィルム）が、約二〇〇本保管されています。先般、NHKの御協力を得て、約九〇本がDVD化され閲覧することができるようになりました。アメリカの最も成功した例といわれる日本占領政策の中で、日本人をどのように再教育しようとしたのか、六〇年を経た現在、あらためて見つめ直して見ると、戦後の日本に実現したものとそうでなかったものが浮かび上がってきます。関連行事としてナトコ映画祭と銘打ち上映会を実施いたします。

これらの展示を通して、見学される皆さんのそれぞれの戦後を見つめ直す契機になれば幸いです。

おわりにこの特別展の開催にあたり、日本放送協会をはじめ小松島市・神山町・那賀町、木村章氏・久米仁氏など多くの方々にご協力いただきました。心よりお礼申し上げます。

平成一七年八月二日

徳島県立文書館長 立石 恵嗣

60	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28																																
平成不況期										バブル経済								安定成長期 (低経済成長期)																																													
二〇〇五	二〇〇三	二〇〇二	二〇〇一	二〇〇〇	一九九九	一九九八	一九九七	一九九六	一九九五	一九九四	一九九三	一九九二	一九九一	一九九〇	一九八八	一九八七	一九八六	一九八五	一九八四	一九八三	一九八二	一九八一	一九八〇	一九七九	一九七八	一九七七	一九七六	一九七五	一九七四	一九七三																																	
平成一七	平成一五	平成一四	平成一三	平成一二	平成一一	平成一〇	平成九	平成八	平成七	平成六	平成五	平成四	平成三	平成二	平成元	昭和六二	昭和六一	昭和六〇	昭和五九	昭和五八	昭和五七	昭和五六	昭和五五	昭和五四	昭和五三	昭和五二	昭和五一	昭和五〇	昭和四九	昭和四八																																	
戦後六〇年	イラク戦争、自衛隊イラク派遣。松井秀喜大リーグで活躍	サッカーワールドカップ日韓大会 ゆとり教育による学力低下問題化。デジタルカメラの出荷台数急増	九月一日同時多発テロ。小泉ブーム イチロー、アメリカ大リーグで大活躍、「スローフード」	「IT革命(情報化)、携帯インターネット、パラサイトシングル	不況・リストラによる中高年の自殺急増。ロボット犬アイボ登場	ワールドカップ仏大会。「キレる」、少年犯罪の増加	ホームレス急増。環境ホルモン社会問題化	銀行による中小企業への貸し渋り。ペルー日本大使館事件	阪神淡路大震災。地下鉄サリン事件。野茂英雄大リーグで活躍	携帯電話・インターネット急速に普及 「援助交際」「メイクドラマ」流行語に	国内のパソコン販売台数、ワープロを上回る 松本サリン事件。関西空港	新党ブーム。冷害で米凶作。海外から緊急輸入 曙、外国人初の横綱に	地価下落始まる。小中学生の「登校拒否」社会問題化。湾岸戦争勃発 国家公務員週休二日制。百歳双子きんさん・ぎんさんブーム	「3K」(きつい・きたない・危険)	バブル崩壊。海外渡航者一千万人を突破	反原発運動広がる。リクルート疑惑広がる。昭和天皇重体、自願ムード	1 昭和天皇没。ベルリンの壁崩壊。セクハラ	地価高騰、地上げ社会問題化。円高・ドル安進む。財テクブーム	4 国鉄分割・民営化。地価高騰続く。ソ連でベレストロイカ ブラックマンデー	写真週刊誌戦争、過熱。ひとり暮らし老人、史上はじめて百万人突破 日本の対外純資産世界第一位。小・中学校で「いじめ」増加 「新人類」流行語となる。ファミコンブーム	輸出総額減少。「軽薄短小」の語はやる。エアロビクス、ゲートボール人気 パソコン・ワープロ、急速に普及。サラ金、ドラマ「おしん」人気	王貞治、本塁打世界記録。平均寿命、男女とも世界一に。カラオケブーム 試験管ベイビー誕生。「窓際族」、ファミリーレストラン、ディスコブーム EC、日本の住宅を「ウサギ小屋」にたとえる。インベーターブーム 自動車生産台数、世界第一位。校内・家庭内暴力急増。金属ハット事件 ガンが死因第一位。単身赴任者増加。宅配便、郵便小包をめぐ	狂乱物価、戦後初のマイナス成長 戦後最大の不況。暴走族	10 第四次中東戦争。石油ショック、トイレットペーパーに殺到。省エネ	11 吉野川早明浦ダム完成。瀬戸内晴美出家し寂聴に	4 池田高校さわやかイレブン準優勝 12 三木武夫、首相になる	3 吉野川池田ダム完成 9 住友重機橋鴻造船所立地断念	8 末広有料道路開通 11 徳大医学部で教授選考で紛糾	8 北灘一帯に赤潮発生	10 ラジオ商事件再審はじまる 11 阿波の狸まつりはじまる	8 池田高校夏の甲子園で準優勝	12 地裁、富士茂子さん再審決定 冷夏で米不作	9 知事に三木甲三氏 10 鳴門教育大学開学	8 池田高校夏の甲子園優勝	4 池田高校選抜優勝、春夏連覇 10 アミコ・そごう開店	11 徳島一東京間ジェット機就航	1 大雪 4 津川イネさん長寿日本一に	3 国鉄の小松島線廃止 6 大鳴門橋開通	7 死後再審富士茂子さん無罪判決 7 剣山スーパートレイル道開通	4 池田高校が選抜優勝。徳大総合科学部発足 6 徳島県新庁舎完成	4 徳島空港滑走路二〇〇〇m延長	8 東祖谷にフィリピンの花嫁さん	4 瀬戸大橋開通	5 全国植樹祭開催 7 参院選マドンナブーム 乾さん当選	11 文化の森総合公園開園、文書館開館 9 猛暑のあと台風ラッシュ	4 貞光で山田洋次映画祭 8 阿波踊りロボット完成	9 JR徳島駅新装開業 4 学校週五日制はじまる	9 知事に圓藤寿穂氏 10 アステイ徳島オープン	徳島香川で東四国国体開催	3 藍住一脇町に徳島初高速道路	6 沖洲マリナーミナール完成	3 丸新一年の歴史閉店	7 〇一〇7県内でも検出 11 映画「虹をつかむ男」脇町ロケ	6 細川内ダム計画一時休止に 12 高速道路脇一美馬間開通	4 明石海峡大橋開通。とくしま動物園オープン	12 第十堰改築問題住民運動に	9 マラソンの犬伏日本最高記録。長引く不況で倒産相次ぐ 徳島ラーメンブーム	3 徳島自動車道全線開通 8 第十堰改築計画白紙に ※県人口八二四、一〇八人	3 横断道・板野一高松中央開通 7 あすたむランド徳島オープン	9 狂牛病騒動	3 圓藤知事逮捕 8 鳴門工業高校選抜準優勝 4 知事に太田正氏	5 知事に飯泉嘉門氏 6 県内建設大手が経営破綻	10 ねんりんピック開催 10 吉野川市誕生

参考文献 岩波ブックレット 中村政則編「年表昭和史一九二六—二〇〇三」増補版、徳島新聞 戦後遺稿・県内の主な出来事 二〇〇五年一月一日記事 県内の十大ニュース、「レジュアルNIPPON昭和の時代」、小学館、「写真集徳島大空襲」徳島空襲を記録する会



●昭和30年代 フラフープ大流行



●昭和32年 徳島市ロープウェー開業



●昭和60年 大鳴門橋の開通



●昭和49年 池田高校さわやかイレブン

キーワードで見る戦後徳島の社会・生活史年表

戦後暦	西暦	和暦	国内・世界のおもな出来事	県内の主な出来事
0	一九四五	昭和二〇	8 終戦(敗戦)・占領・GHQ・焼け跡・闇市	7 徳島市大空襲 ※県人口八五四、八一人
1	一九四六	昭和二一	4 戦後初の総選挙 11 日本国憲法公布 ソ連・満州からの引き揚げ者	12 南海大地震、四国・近畿の死者一、三三〇人(県内二〇二人)
2	一九四七	二二	4 学制改革(六・三・三制) 5 日本国憲法施行(自由と平和と民主主義) 12 改正民法公布(家制度廃止)	3 鳴門市誕生(5 鳴門市と改称)
3	一九四八	二三	5 サマータイム始まる(一五二) 11 東京裁判判決下る	4 徳島商業、選抜中学校野球大会優勝
4	一九四九	二四	4 一ドル二六〇円の為替レート。不況深まる	2 徳島医科大学設置 ※ナトコ映画上映される
5	一九五〇	二五	6 朝鮮戦争はじまる 8 警察予備隊令公布。特需景気 満年齢の採用	5 徳島大学設置
6	一九五一	二六	9 対日平和条約・日米安全保障条約。結核、死因の二位に パチンコ流行	3 昭和天皇巡幸 9 ジェーン台風 ※県人口八七八、五二一人(ピーク)
7	一九五二	二七	4 日本の独立(対米従属)。国民所得、ほぼ戦前水準に回復。 「君の名は」流行	4 鳴門高校、選抜高校野球で優勝 6 小松島市誕生
8	一九五三	二八	街頭・店頭テレビに人気殺到。プロレス人気	7 四国放送、四国初の民間ラジオ放送開始
9	一九五四	二九	電気洗濯機・冷蔵庫・掃除機が「三種の神器」と呼ばれる 銭貨流通停止	5 吉野川中央橋開通
10	一九五五	三〇	保守合同・社会党統一で「五五年体制」はじまる(保守革新の対立)	1 第一回徳島駅伝競争 4 鳴門-淡路-明石フェリー就航
11	一九五六	三一	12 日本の国連加盟可決。熊本県水俣湾に奇病多発。 「もはや戦後でない」。テレビの普及と「億総白痴化」	3 県内各地で町村合併 8 森永ヒ素ミルク中毒事件発生
12	一九五七	三二	10 ソ連、人工衛星打ち上げ成功(宇宙時代) 「なべ底」不況。「ストレス」流行語になる	5 小松島-和歌山に新航路就航 8 猛暑日本脳炎で県内死者二人
13	一九五八	三三	ミッチー(美智子妃)ブーム。スバル360登場、マイカー時代の幕開け	9 徳島市元町に県内初の信号機
14	一九五九	三四	4 皇太子御成婚、テレビの購入急増。三池闘争開始。「岩戸景気」	6 水上機の大坂定期空路開設 11 徳島市立動物園開園
15	一九六〇	三五	5 日米安保条約の改定、安保闘争。ダッコちゃん流行 国民所得倍増計画、「マイホーム主義」	12 徳島市宮前山ロープウェイ開業
16	一九六一	三六	実質経済成長率十四・五%(高度経済成長率の最高) レジャーブーム「大衆社会」の形成	1 南海丸沈没、一六七人全員死亡 5 阿南市誕生
17	一九六二	三七	10 キューバ危機。東京でスモッグ深刻化。機械品、輸出で繊維製品をめぐ	2 吉野川に名田橋完成
18	一九六三	三八	オリンピック景気。三ちゃん農業広まる	1 新産業都市指定 4 海南高校選抜高校野球優勝
19	一九六四	三九	10 東京オリンピック開催。海外旅行の自由化	12 小松島-和歌山間にフェリー就航
20	一九六五	四〇	消費者物価上昇、物価問題深刻化 造船進水量一〇年連続で世界第一位	3 チリ大地震、県南に津波 10 知事選に武市恭信氏
21	一九六六	四一	交通戦争の言葉生まれる。3C(カラーテレビ・カー・クーラー) が新三種の神器。ビートルズ日本公演	10 徳島市民病院、北常三島に新築
22	一九六七	四二	8 公害対策基本法公布。「核家族」の呼び名広まる、 ミニスカート大流行	1 沖ノ洲沖で自衛隊機同士が衝突一〇名全員死亡
23	一九六八	四三	10 明治百年記念式典。GNP、資本主義国第二位に、スーパー繁栄	シンナー遊び激増
24	一九六九	四四	大学紛争激化。テレビ受信台数世界第一位	9 剣山観光リフト営業 ※県人口七九一、二一人
25	一九七〇	四五	7 アポロ十一号初の月面着陸	7 全国高校総体に皇太子ご夫妻来県
26	一九七一	四六	3 大阪万博開催。農業汚染・光化学スモッグなど公害が全国的に広がる 日米貿易摩擦問題化。Tシャツ、Gパン大流行。「宇宙船地球号」	3 徳島市総選制度開始 7 吉野川大橋開通
27	一九七二	四七	2 浅間山荘事件 5 沖縄県本土復帰 9 日中国交樹立 日本列島改造。「恍惚の人」話題に。バンド大人気	7 徳島一千里オーシャンフェリー 8 同沖で赤痢発生



●昭和21年 徳島市役所前での阿波踊り



●昭和20年 空襲で焼失した徳島市



●昭和20年代 ペーゴマ遊び



●昭和25年 昭和天皇巡幸

28歳 昭和四八年（一九七三）

○この年、「石油ショック」で、省資源・節約時代に入る。流行語「じつと我慢の子であった」

30歳 昭和五〇年（一九七五）

・長男が小学校に入学。
「子育ては女の仕事」といわれる時代、家事・育児・仕事に追われつづけ、疲労で胃を傷める。

31歳 昭和五一年（一九七六）

○戦後生まれ、総人口の半数を超える。ロッキード事件で前首相逮捕される。

33歳 昭和五三年（一九七八）

・夫婦の自立をめざして家建てる。

34歳 昭和五四年（一九七九）

・次男が小学校に入学。長男がトロンボーンを習いはじめる。

36歳 昭和五六年（一九八一）

・長男が中学校に入学。次男が少年野球をはじめめる。
子どもの部活で多忙な毎日がつづく。

38歳 昭和五八年（一九八三）

・義母死亡。

39歳 昭和五九年（一九八四）

・長男が高校に入学。
少年野球の世話をよくしてくれた夫が急死。ほんとうに途方に暮れる。

40歳 昭和六〇年（一九八五）

・次男が中学校に入学。バレーボール部で活躍。

○小中学校で「いじめ」が横行し社会問題となる。子育ての大変さを実感する。

41歳 昭和六一年（一九八六）

・義父死亡。

42歳 昭和六二年（一九八七）

・長男が大学入学。

43歳 昭和六三年（一九八八）

・次男が高校入学。

46歳 平成三年（一九九一）

・長男の就職。次男の大学入学。

49歳 平成六年（一九九四）

・長男の結婚。

50歳 平成七年（一九九五）

・次男の就職。このころ、忙しい仕事に毎日没頭できた。長男に初孫誕生。次男、その後大学院に進学し、卒業後再就職。

○戦後五〇年の首相談話、「植民地支配と侵略」につきアジア諸国に「お詫び」を表明。阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件発生など大きな社会問題が次々と起こる。バブル崩壊後の「就職氷河期」がつづく。

54歳 平成一一年（一九九八）

・長男に二人目の孫誕生。

55歳 平成一二年（二〇〇〇）

・次男の結婚。

56歳 平成一三年（二〇〇一）

・長男に三人目の孫、次男に一人目の孫誕生。

57歳 平成一四年（二〇〇二）

・「長い間、本当に苦勞さん」とのことばをつけながら退職。
再就職先で新しい出会いがあり、さわやかな気分になる。

58歳 平成一五年（二〇〇三）

・実母、高齢のため介護の必要ありと判断、わが家に引き取る。

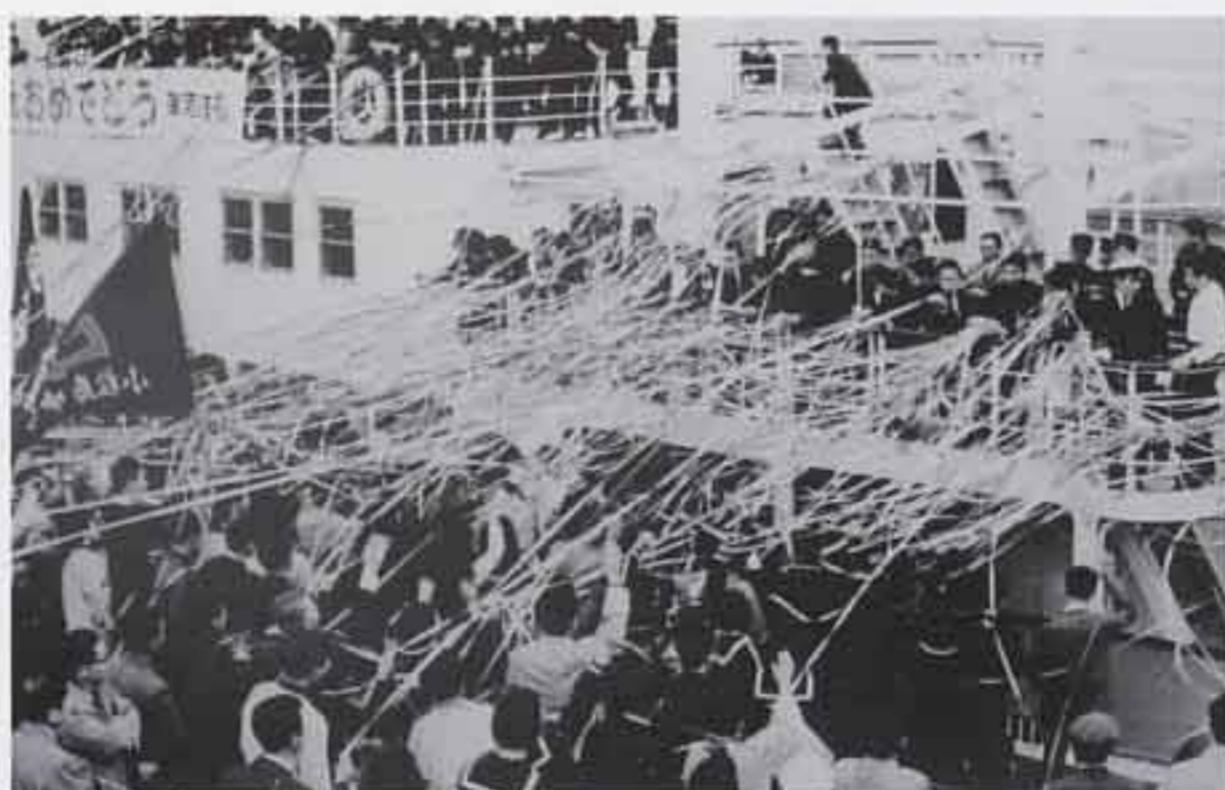
60歳 平成一七年（二〇〇五）

・次男に二人目の孫誕生。
四〇年間の勤めを終えた充実感。ホッとしたような、寂しいような気分。母の介護や庭づくりなどに追われる毎日。
趣味として文化講座に参加、新たな分野に挑戦中。心ゆたかな生活に向かって再スタート。

色々な問題に遭遇。
難問山積であったが、それ
それに近隣の人たち・職場の同
僚・子どもたちに励まされ、懸
命に歩き続けた。



●昭和52年8月 赤潮被害でハマチの大量死



●昭和40年 中学生の集団就職・小松島港



●昭和29年ごろの東新町風景



●昭和32年 模型飛行機大会



●昭和32年 自然の川で水泳訓練

昭和二〇年生まれ

ある女性の前半生の歩みから戦後史を見つめる

0歳 昭和二〇年（一九四五）・八月、七人兄妹の末っ子として生れる。八月十五日「終戦」の日、母は着物を着替え、正座して「玉音」放送を聴いたという。

○GHQ徳島に進駐、執務を開始。

1歳 昭和二年（一九四六）・南海地震起こる。父母が下宿していた大きな家屋も大揺れして怖かったらしい。

○流行歌「リンゴの歌」を聞く。

4歳 昭和四年（一九四九）・復員兵士がいつばいで物資不足の生活がつづいたという。進駐軍の野球のボールが当たって怪我をする。米兵が見舞いに来た。

5歳 昭和五年（一九五〇）・父が病死。母は編み物など手芸の教室を開いて生計を立てるが貧困状態がつづいた。母は夜中も編み物に懸命だった。

○流行語「金へん」「糸へん」（朝鮮戦争の特需景気で繊維と鉄関係が好景気となる）

6歳 昭和六年（一九五一）・幼稚園入園。泣き虫でよく駄々をこねて座り込んだ。

7歳 昭和七年（一九五二）・小学校入学。このころお米があまり買えなくて「だんご汁」の日が多かった。学校給食が楽しみだった。ミルクは脱脂粉乳。近所のおばさんの手伝いをしておやつを買った。病気をしたときだけは母に甘えることができた。お小遣いは五円か一〇円だった。生活はきびしかったが、家の周りには豊かな自然があった。ドジョウやメダカがたくさんいた。蚤・シラミの消毒をよくした。負傷の復員兵がたくさんいた。

○対日講和条約および日米安全保障条約が発効。日本は米軍の駐留のもとで独立する。○流行語「ヤンキー・ゴー・ホーム」流行歌「テネシー・ワルツ」「リンゴ追分」。

9歳 昭和九年（一九五四）・小学校のころ先生が映画によく引率してくれた。「鞍馬天狗」「あんみつ姫」など。

○電気洗濯機・冷蔵庫・掃除機が「三種の神器」と呼ばれる。流行語「パートタイム」「死の灰」

11歳 昭和二年（一九五六）・この頃家の手伝いで、よく「扱葉（こくば）松の落ち葉」かきに行った。

○この年の経済白書「日本経済の成長と近代化」、「もはや戦後ではない」が流行語となる。

13歳 昭和三年（一九五八）・中学校入学。

なんでもよく食べて身長はぐんぐん伸びたが、家は相変わらず貧乏だった。

16歳 昭和三六年（一九六一）・高校入学。

友だちとも賑やかに、活発な少女であった。勉強も「適当」によくした。このころ生活も少し楽になりはじめる。

19歳 昭和三九年（一九六四）・高校卒業・就職。

21歳 昭和四一年（一九六六）

○前年度下半年より「いざなぎ景気」はじまる。3C（カラーTV・カー・クーラー）が新三種の神器となる。

22歳 昭和四二年（一九六七）・結婚。夫の親と同居。

23歳 昭和四三年（一九六八）・長男誕生。四か月月から乳児保育所へ預ける。子育て・家事・仕事に毎日追われる。子どもがよく病気で、心配が絶えなかった。



●昭和25年 紙芝居（長池町）



●昭和20年8月生まれの私



●昭和24年から運行のトレーラーバス



●昭和21年 南海地震の被害

戦後徳島の

高校教育

学区制の変遷を中心に

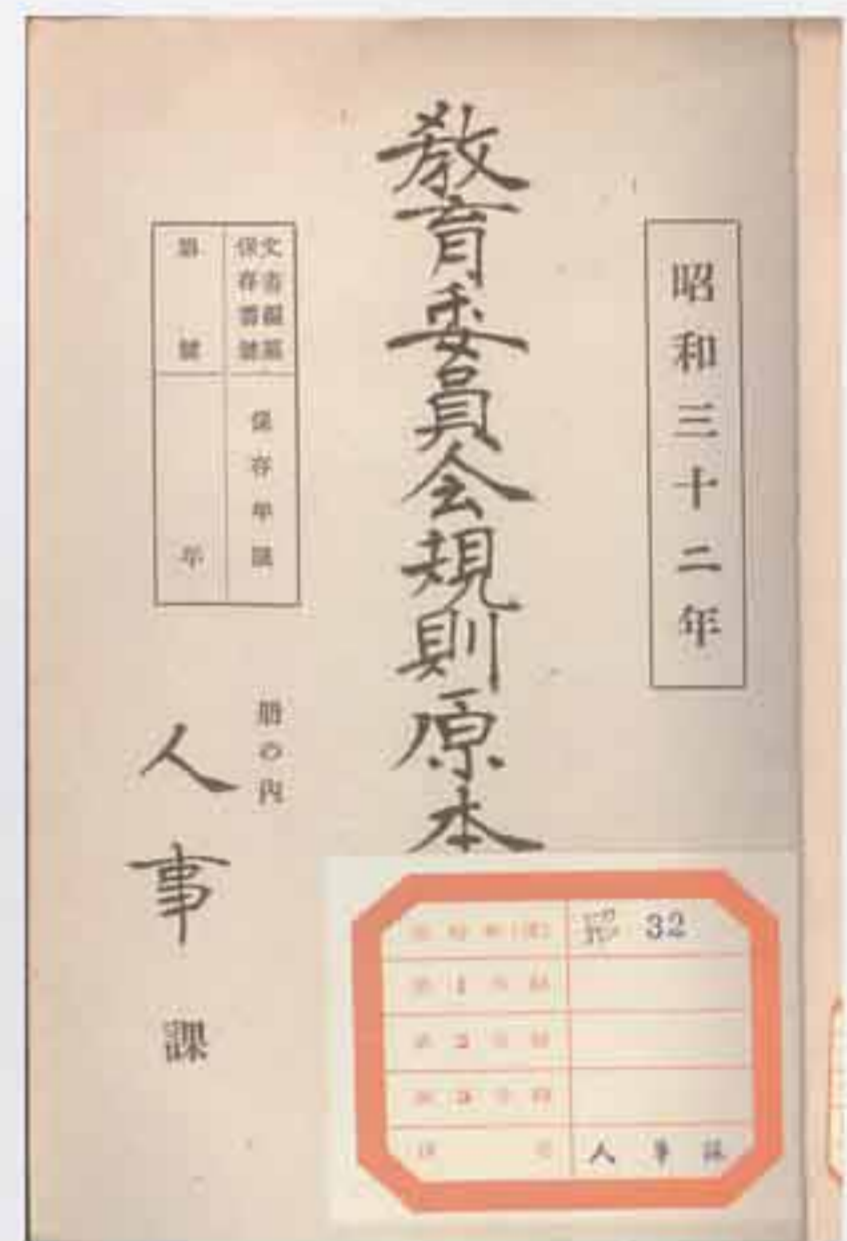
徳島県では昭和二十三年に、それまでの旧制中等学校が新制高等学校三〇校に改組される。さらに翌二四年、この三〇校が一斉に廃校となり、男女共学・小学区制・総合制を三原則とするに大規模な再編成が断行され、二一の新制高等学校が開校する。その際に、小学区制の原則は在校生にも適用されたので、学校間での生徒の大移動という状況が現出した。

戦後教育の理想とされた高校三原則であるが、小学区制については学校選択の自由を望む声の高まりと共に、昭和二〇年代の後半から次第に崩壊していく。昭和三〇年には、普通課程については徳島市・鳴門市・富岡町（現阿南市）の高校については中学区制が、その他のについては小学区制が、職業

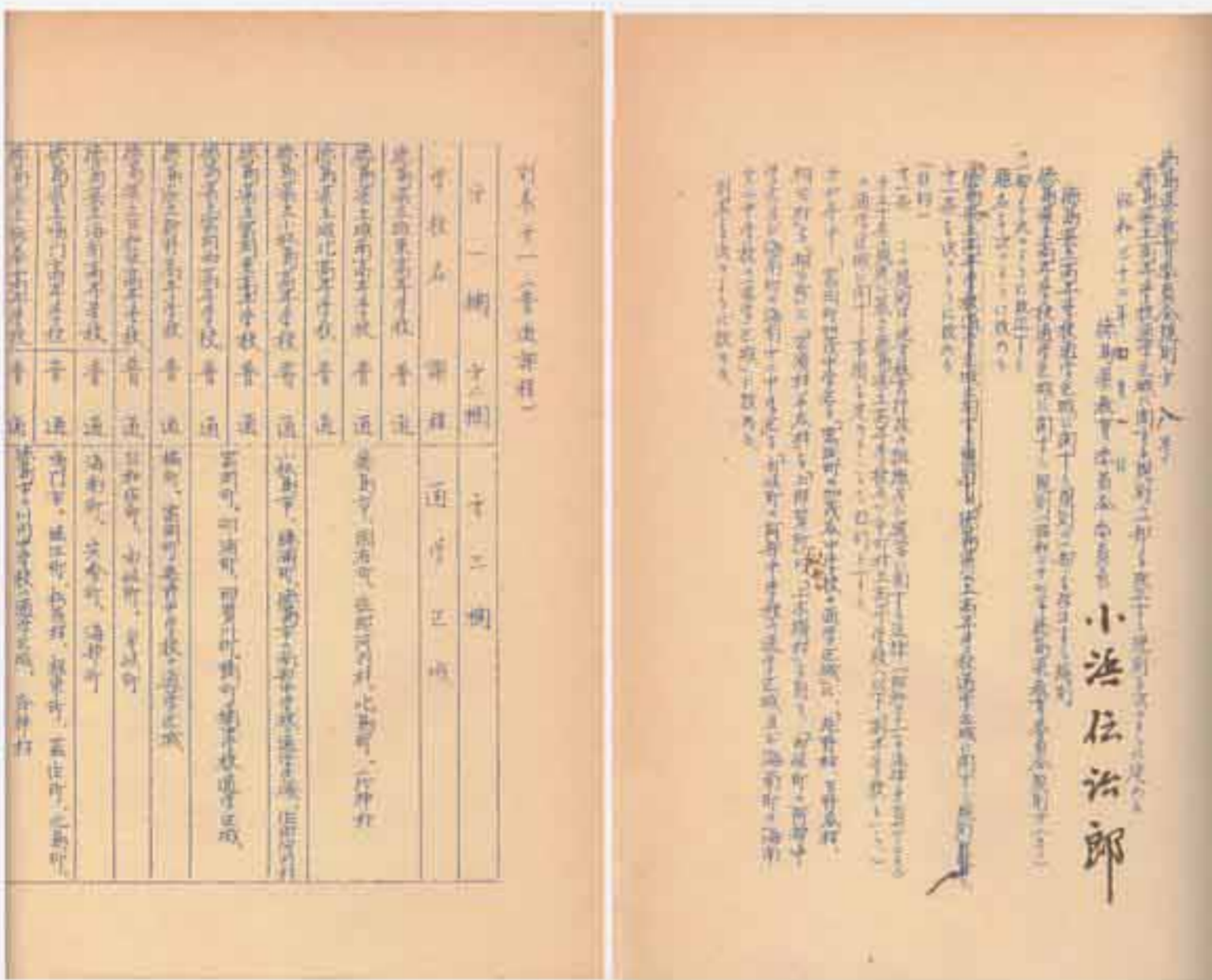
課程については一学区一課程の小学区制が採用された。昭和二十三年には普通課程については全県を徳島市を共通学区とする甲（県南）・乙（県北）の二学区に分け、職業課程については全県一区とする大学区制となった。

昭和四〇年代に入り受験戦争が過熱すると共に、徳島市内普通科高校への志願集中が社会問題化してきた。そこで昭和四七（一九七二）年から、それまでの学区から徳島市内を分離して丙学区とし、市内の公立普通科高校を総合選抜とする「総選制」が導入された。

平成一六年、「総選制」は廃止され、甲乙丙三学区の他に城ノ内高校を全県一区とし、高校入試を前後期二回実施する現在の制度がスタートする。



昭和32年教育委員会規則原本表紙



昭和32年4月高等学校の通学区の一部を改正する規則



同じくコンピューター（徳島県立総合教育センター提供）



「総選制」において進学先の決定に利用されたコンピューター磁気テープ

公文書に見る「配給」

戦中戦後の庶民生活を厳しく規制していた制度に「配給」がある。物資不足に対応して戦争中の経済を維持していくため、生産の統制・価格の統制・流通の統制が必要となり、徐々に広がっていった。

昭和一三年三月の綿糸割当票の実施に始まり、五月には揮発油・重油、七月には鉄鋼・ゴムなど輸入物資を中心に生産財の統制が進んだ。さらに一五年六月から六大都市圏で一般家庭向けのマッチと砂糖の配給切符制が始まった。庶民の生活に直接「配給」が入り込んできたのである。これをはじめとして米・地下足袋・ゴム靴・脱脂綿・木炭などが次々と加えられ、一〇月にはマッチ・砂糖の配給が全国に拡大した。一六年四月には、六大都市圏で世帯単位に配給通帳制度をとり配給が強化され、一二月に太平洋戦争が始まるとさらに塩、味噌、醤油、石鹼、たばこなどが採用され、生活必需品のほとんど全てが「配給」となった。特に衣料品は、点数切符による配給制が取られ、あらゆる衣

料品が一三三項目に分類され点数が付けられた。背広なら一着五〇点、ブラウス八点、靴下二点、ハンカチ一点などに定められ、一般には一人当たり年間の持ち点が八〇点で賄うことになっていた。その後衣料品の点数が背広なら五〇点から六三点に引き上げられたり、持ち点が減点されたりしたが、戦争末期には切符があっても買う品物がない状況となっていた。

敗戦後も、極端な物資不足の状況は続き、GHQによって「配給」継続が指示され、配給機関として石炭・石油・食糧などの公団が設置された。しかし、物資の統制がきかず、闇市の闇物資が庶民の生活を支える結果となっていた。その後物資不足が解消されると共に、乳製品・鶏肉・茶などから統制廃止が始まり、衣料切符も二四年には人絹製品、翌二五年にはその他製品も廃止され、二七年に臨時物資需給調整法が廃止されるにいたって主食以外は「配給」の対象から外された。



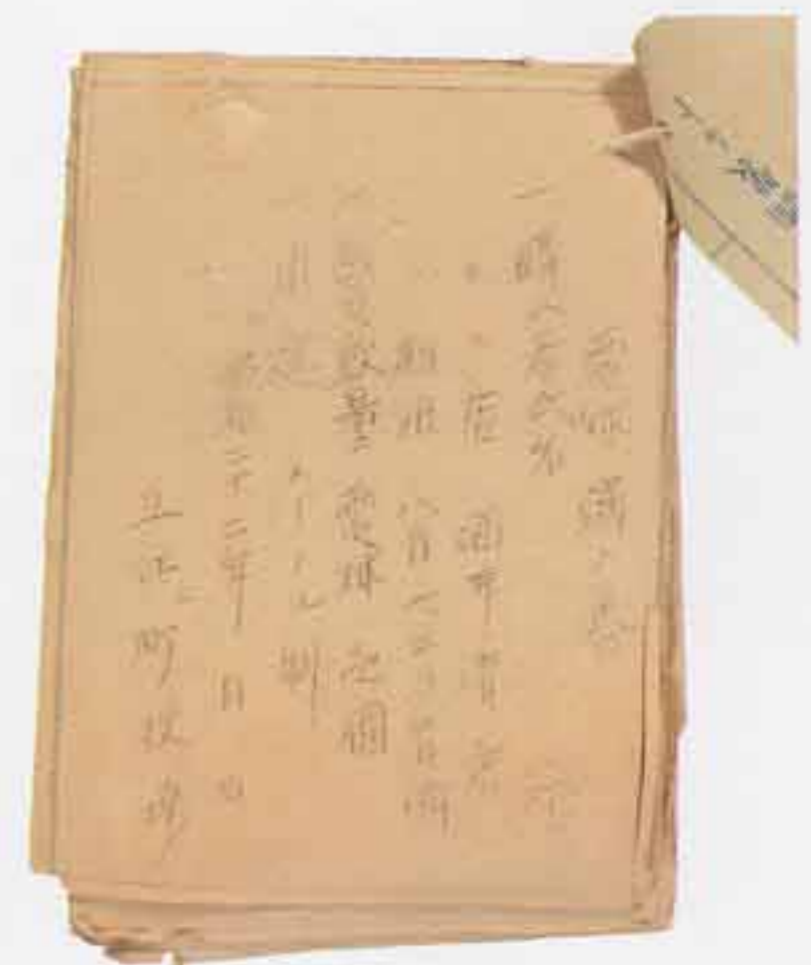
家庭用配給券 (小松島市所蔵)



農家用主要食糧購入通帳 (小松島市所蔵)



戦中期の配給関係公文書 (神山町所蔵)



電球購入券 (小松島市所蔵)

住宅団地の造成

新しい生活空間

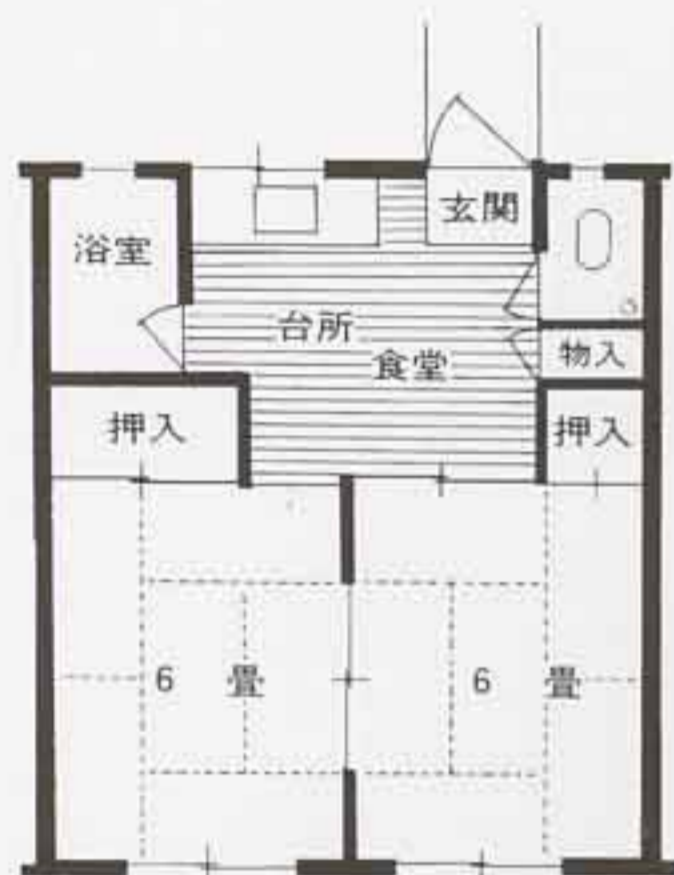
戦後、衣食が満ち足りてくると、団塊の世代の成人化と合わせて住の問題が大きくクローズアップされてきた。さらに生活の欧米化が広がり、水洗トイレや新しい台所（ダイニングキッチン）が求められるとともに、核家族が進むことが予測され、新規住宅建設の戸数不足が叫ばれていた。

徳島県では、昭和四十一年から四十五年まで徳島県住宅建設五か年計画を立て、まず四万三千戸の住宅を建設することを目標に、耐火・耐風構造で明るく合理的な住宅建設を目標にした。

さらに、昭和四十六年から昭和五〇年まで第二期の五ヶ年計画がスタートする。この計画では第一期を越えた六万二千戸の住宅建設が目標とされた。この二期の計画では、県営の羽ノ浦町春日野団地千二百戸、鴨島町呉郷団地八百戸のような巨大な団地建設も始まった。



●春日野団地のパンフレット
平野に1200戸の巨大団地が出現した



●呉郷団地の平面図、バス（浴室）キッチン（台所）トイレ（便所）が独立している



●「画報徳島7号」の表紙。5階建ての住吉団地の前で遊ぶ子供達

た。こうした団地はモデル団地とされ県内（特に徳島市周辺）に建設が進んだ。

昭和四八年には、東京急行電鉄株式会社により、しらすぎ台団地（一、六八五区画、六千人）という大規模団地建設が計画され、五〇年から入居が開始された。上下水道の完備された最新設備の団地を舞台に新しい生活を始めた家族も多かっただろう。

こうした団地も昭和六〇年代に入ると、建物の老朽化や、住民の高齢化などの新しい問題が生まれはじめ、「徳島の抱える問題の縮図」となりつつある。

公害

「公害」が日本において一般的な言葉となったのは、昭和三〇年代後半、高度

経済成長の裏面としてであった。公害は、「事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる、大気汚染・水質汚濁・土壌汚染・騒音・振動・地盤沈下・悪臭により、人の健康または生活環境に関わる被害が生ずること」と規定されている。四大公害訴訟と言われた「熊本水俣病・新潟水俣病・イタイイタイ病・四日市ぜんそく」などの裁判闘争や、住民による公害反対運動が広がり、大きな社会問題となった。

徳島においても、昭和四五年頃始まった原子力発電所設置反対運動、四八年有機水銀汚染、四九年重油流失事故による沿岸漁業の被害と、昭和四〇年代後半になって公害の被害や反対運



●赤潮発生海域図（昭和45年）



●赤潮の原因となるプランクトン



●赤潮により大量に死んだハマチ

動が広がっている。同じく四〇年代後半から大きな漁業被害を与えた徳島における「公害」の代表に赤潮がある。赤潮は尿尿や工場の廃液などにより海洋が富栄養化してしまうことにより、毒性のあるプランクトンが大発生したもので、瀬戸内海において広く社会問題化した。徳島の沿岸養殖漁業にも大きな影響を与え、徳島のひとびとにも公害の問題が身近なものとして迫ってきた。

その後、尿尿処理や汚水処理の技術が進み、発生メカニズムなどの解明、防護策の検討が行われることにより、赤潮の大規模な発生による被害は聞かれなくなった。しかし、こうした教訓はわれわれの胸に深く刻み込んでおく必要がある。

徳島県の物流

ある運送会社の奔走

徳島の「人とモノ」の動きは輸送技術の向上、インフラの整備、そして経済の成長とともに大きく変化してきた。徳島県においては、昭和四〇年代の大型フェリーの就航が「人とモノ」の動きを変える契機となった。ここに紹介する貨物輸送の路線延長もその一つである。

昭和四〇年八月の徳島―深日（ふけ）線のフェリーボート就航に伴い、物流の転換をいち早く察知した県南のある運送会社は、阿南から大阪まで陸路と海路を組み合わせた路線延長許可を申請した。路線延長の理由として

以下の二点をあげている。

①フェリーボートの急増、成長に伴い、旧来の鉄道及び海上輸送依存を脱し、自動車輸送のウエイトは、日々増大。

②生産者・地元関係者が強く望んでいた積み替えによる荷痛みの解消と輸送時間の短縮。木工品の産地は、商品の建材・家具などを徳島市を中継地にして阪神地区へ出荷していた。しかし、荷痛みには悩まされたようである。「郡市―徳島―阪神」の輸送ルートを、「郡市―阪神」のダイレクトなルートに変えることで地場産業の発展を目指した。

この申請に対して、当時の高松陸運局（現四国陸運局）は、徳島県知事に対して道路管理上の意見について問い合わせている。この申請の許可時期は現在不明である。本資料は、昭和四〇年代における徳島県の貨物輸送の一転換を示しているといえよう。



●小松島フェリー（昭和60年頃）



●阿南―徳島―深日―大阪間輸送路（昭和40年申請書添付路線図）

徳島県に残されていた CIE映画フィルム （ナトコ映画）

戦後まもない昭和二二年四月から日本での貸与が始まったCIE教育映画（通称ナトコ映画）は、連合国（特にアメリカ）に対する生活などのあこがれや民主主義の価値観を広めるため全国の映画会などで上映されていた。CIEはGHQ（連合国軍最高司令官総司令部）の内部部局である民間情報教育局のことで、作成

された文書はCIE教育映画とされたが、アメリカ製のナトコ映画機によって上映されたため、ナトコ映画と呼ばれた。多くが連合国で撮影されたフィルムに日本語のナレーションを入れたものだが、中には日本で作成された作品もあり、戦争直後の日本の姿を映像で見ることが出来る貴重な史料といえよう。



上 戦争花嫁 (G199743088)
下 清らかに美しく (G199743198)

展 示 品 目 録

No.	資 料 名	年 月 日	所 蔵
航空写真			
1	徳島市内航空写真(複製)	昭和初期	久米家資料
2	徳島市内航空写真(複製)	昭和20年7月5日	アメリカ合衆国国立公文書館
配給			
3	主要食糧配給台帳 第一号	昭和25~26年度	マツ01605000
4	家庭用塩購入票(未使用)	昭和21年度	マツ02377038
5	家庭用品購入票(みそ・醤油)(未使用)	(昭和23年)	マツ02377147
6	農家用主要食糧購入通帳(未使用)	昭和23年	マツ02377150
7	穀粉購入券(未使用)	昭和21年	マツ02377176
8	牛乳配給券(未使用)	昭和22年	マツ02377177
9	米麦等輸送許可申請書(雛形)	昭和22年	マツ02377182
10	電球購入券(一括)	昭和22年	マツ02377183
11	マッチ配給関係綴	昭和15~20年度	神山町所蔵公文書
12	石鹸配給関係綴	昭和17~21年度	神山町所蔵公文書
13	金属類非常回収関係綴	昭和18~21年度	神山町所蔵公文書
女性の半生			
14	アサヒグラフ別冊 秋の特大号 映画と演芸 23号	昭和32年	コイ200202937
15	アサヒグラフ別冊 春陽特大号 映画と演芸 25号	昭和33年	コイ200202939
教育関係			
16	徳島県立高等学校生徒募集選抜要項	昭和46年度	G199104835
17	徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項	昭和47年度	G199104836
18	CIE教育映画フィルム(「将来の設計」)	昭和20年代	G199743063
19	徳島県立高等学校入学選抜制度の基本方針	平成16年度	G200300356
20	学校日誌(広野国民学校持部分教場)	昭和20年度	神山町所蔵公文書
21	視聴覚教育関係綴	昭和40年度	マツ03137000
22	コンピューター磁気テープ(総合選抜制度)	平成11~15年度	徳島県教育委員会
公害			
23	播磨灘赤潮被害関係文書綴	昭和52年度	K199300195
24	赤潮関係綴	昭和46年度	K199702139
25	PCB調査報告書	昭和47~48年度	K200100319
住宅			
26	画報とくしまNO.7	(昭和46年)	G199709084
27	社会福祉施設整備関係(保育所)	昭和45~46年度	K200400281
衛生			
28	衛生に関する綴	昭和22~24年度	マツ01498000
交通			
29	一般文書綴(港湾課作成)	昭和38~40年度	K199702998
30	YS-11(徳島空港)	昭和54年	木村章氏所蔵
31	ホバークラフト(高松港)	昭和57年	木村章氏所蔵
32	日東航空の飛行機(吉野川橋の下から発着)	昭和36年	S200003632(木村章氏所蔵)

※資料保存のため展示作品の一部を入れ替えることがあります。

関連行事
文書館ナトコ映画祭

期間
平成一七年八月一五日(月)―八月二二日(日)
午後二時―午後三時三〇分
※毎日二〜三作品ずつ日替わりで上映します

展示解説

期間
平成一七年九月四日(日)・一〇月二日(日)の二日間
午後一時三〇分―午後三時



●昭和32年 徳島市立動物園開園

特別企画展

戦後六〇年のメッセージ

伝えたいあの時を…

平成十七年八月二日 発行

編集・発行 徳島県立文書館

〒770-8070 徳島市八万町向寺山
電話 〇八八(六六八)三七〇〇

印刷 原田印刷出版株式会社

〒770-1563 徳島市西大工町四ノ五
電話 〇八八(六二二)二三五六